

紙面リニューアルで
大津市議会の情報を
さらに分かりやすく
お届けします!!

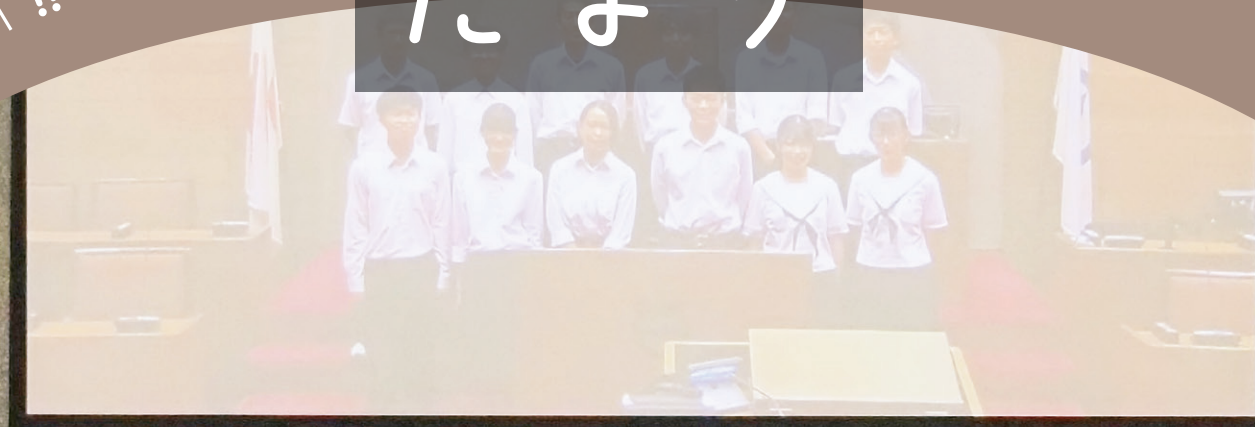
つ会 お議より お市だ

第157号

令和4年11月15日発行

8月通常会議

(令和4年8月31日～10月13日)



Pickup! P11 市内高校生と意見交換会を実施しました

Pickup! P12 ご協力ありがとうございました!
読者アンケートの結果をお知らせします

表紙写真 意見交換会に参加した
膳所高等学校の生徒の皆さん

※撮影時のみマスクを外しています

令和3年度 決算審査

前年度に市がどのようにして財源を確保したのか、そしてそのお金をどのように使ったのかを議会が確認することを決算審査といいます。本通常会議では、令和3年度一般会計決算をはじめ12件の決算議案を審議し、そのすべてを認定しました。



知っていますか？大津市のお財布事情

👉 一般会計は **46億3,272万円** の黒字

歳入総額、歳出総額ともに過去2番目の決算額となり、実質収支額は前年度に比べて増加しています。

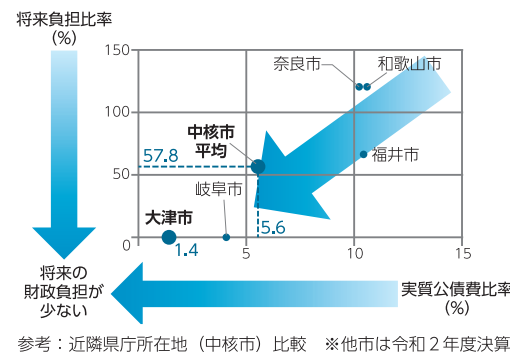
歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額	実質収支額
1,458億5,107万4,000円	1,410億7,420万6,000円	47億7,686万8,000円	46億3,272万1,000円

※実質収支額：歳入歳出差引額から、翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた額（令和2年度決算の実質収支額は32億7,124万円）

👉 市の**財政状況**は、**良好**です

財政の健全度を示す指標である実質公債費比率（市税収入などの年収に対する借金返済額の割合）は1.4%、将来負担比率（市税収入などの年収に対して将来負担する可能性のある借金の割合）は発生しておらず、良好な状況です。

表の見方 将来の財政負担が右上ほど多く、左下ほど少なくなります。本市は、中核市平均より財政負担が少ない自治体といえます。



▼コロナ禍が長期化する中、感染防止対策や生活支援、事業者支援を最優先としながらも、総合計画第2期実行計画の初年度として「夢があふれるまち大津」の実現に向けた5つのリーディングプロジェクトや各種事業を着実に推進されました。市庁舎整備は大きな一歩を踏み出したと評価しますが、コロナ禍の影響もあり事業進捗が遅れており、事業スケジュールを精査することを求めます。加えて、公共施設の計画的な維持管理に努めることや、適正な事務執行の下で円滑な市政運営を図られることを求めます。行政課題が山積する中、厳しい行政運営が続きますが、職員が一丸となってまい進されることを期待し、賛成します。

▼新型コロナウイルス対策をはじめ、各種事業の優先度や必要性を精査し、均衡が取れた予算執行に努めた結果、44年連続の黒字決算となったことを評価します。適正な事務執行と、ポストコロナ時代に見合う持続可能な行財政運営に全庁一丸となり、市議会との連携の下「夢があふれるまち大津」の実現にまい進することを期待し、賛成します。

反対

▼新型コロナウイルス収束のめどが立たない中、一定の事業推進は評価しますが、困窮する市民に届く施策や事業を展開できたとは認められず、反対します。国の新型コロナウイルス関連の交付金の活用にも問題があると考えます。市民の命を守り、暮らし最優先の市政実現に資する「人への投資」の大胆な推進を求めます。

賛成

▼新型コロナウイルス対策の継続や給付金による支援などに加え、会派から提言・要望した事業推進に取り組まれたことを評価します。今後、少子高齢化やデジタル社会、環境問題などへの対応に限られた行財政資源を効率的・効果的に活用し、さらに質の高い行政サービスを提供することを求め、賛成します。

▼新型コロナウイルス対策と併せ、子育て支援、学校施設長寿化、中消防署移転などを実施しながら44年連続で実質収支の黒字を達成したことを評価します。今後、も公共施設や庁舎整備に係る基金の計画的運用や教育費の充実などを図りつつ、健全財政を堅持し、安定した行財政運営に取り組むことを求め、賛成します。

※本紙では「新型コロナウイルス感染症」を「新型コロナ」と表記しています。

おつ市議会だより
令和4年11月15日

8月通常会議の概要

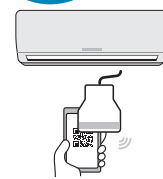
審議期間：令和4年8月31日(水) ▶ 10月13日(木) **44日間**

本通常会議では、令和4年度一般会計補正予算をはじめ、合計31件の議案が市長から提出されました。また、昨今、長期欠席のまま議員報酬などを受け取ることに全国的な批判が高まり、社会問題となっていることを踏まえ、大津市議会としては、市民の負託に応える決意を対外的に示し、自身を律するための議論を議会運営委員会で重ねてきており、通常会議の審議期間中の本会議や委員会などを正当な理由なくすべて欠席した場合、翌月以降の議員報酬の支給を停止する規定を設けるため、大津市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部改正を議会運営委員会から提出。採決の結果、すべての議案を可決・認定・同意しました。

このほか、7件の意見書案と「安倍元内閣総理大臣の国葬の中止を求める決議案」の提出があり、このうち2件の意見書を可決し、決議案は否決しました。

市民からの請願は1件提出があり、審査した結果、不採択となりました。

補正予算



物価高騰などに対する本市独自の支援

原油価格や電力・ガス・食料品等の高騰などへの対策として、国からの地方交付金を活用した本市独自の支援に要する経費を補正します。

主な支援の内容

- ▶省エネ家電（エアコン・冷蔵庫）の購入補助（市内の県電器商業組合加盟店で4万円以上購入で2万円を補助）※購入対象期間：令和4年11月1日～令和5年2月15日
- ▶市内の飲食業などを対象としたキャッシュレス決済ポイント還元（auPAY、d払い、PayPayで30%をポイント還元）※実施期間：令和4年12月1日～令和5年1月31日
- ▶ひとり親家庭に対する子育て臨時給付金（児童扶養手当受給世帯の子ども一人につき2万円）
- ▶国の支援給付金の対象とならない高齢者への生活支援（65歳以上に5千円分の商品券）

※支援内容の詳細は市のホームページなどでご確認ください。

条例改正



都市公園条例の一部改正

事業者などが都市公園へ施設を設置する際に支払う公園使用料は定額ですが、施設での収益を活用し公園整備も事業者が一体的に行うPark-PFI制度を活用する場合は、使用料の価格競争を可能とするため従来の使用料を最低額とし、事業者から提案のあった額を使用料とすることができるよう条例を一部改正します。

ポイント

大津湖岸なぎさ公園市民プラザは、このPark-PFI制度を活用した再整備が進んでおり、令和6年春頃には株式会社たねやによる公園再整備と店舗出店が完了する予定です。

議案第71号

議案第101号



一般会計
補正予算の
詳細はこちら

補正予算



HPVワクチンの自費接種者への支援

子宮頸がんなどを予防するHPVワクチンの積極的勧奨を令和3年11月に再開したことから、積極的な接種の勧奨を差し控えていた間に接種機会を逃した人（キャッチアップ接種対象者）のうち、定期接種対象年齢を過ぎてから任意接種を自費で受けた人の接種費用に対する事後償還に要する経費を補正します。

ポイント

対象者	平成9年4月2日から平成17年4月1日までの間に生まれた女性
償還額	被接種者が負担した実費相当額(最大3回分)
申請期間	令和4年10月から令和7年3月末まで

補正予算



真野・新瀬田浄水場更新改良及び水道施設運転維持管理事業

浄水場などの水道施設の運転管理を継続しながら、複数の施設の更新改良を進めるために、民間企業のノウハウや体制を活用したPFI法に基づく事業として実施し、令和4年度から令和20年度までを事業期間として326億1,747万6,000円の債務負担行為を設定します。

ポイント

※債務負担行為 複数年にわたる契約などで後年度の支出が確実なものについて、期間・内容・限度額を決めておき、将来お金を払っていく行為。

おつ市議会だより
令和4年11月15日

質疑・一般質問

8月通常会議では、31人の議員がさまざまな分野にわたり質問しました。各議員がいくつか質問した中から一つを選び、カテゴリごとに紹介しています。なお、「質疑」は提出された議案に対する質問、「一般質問」は市政全般に対する質問のことをいいます。

本会議の様様をインターネットで録画配信しています。



質疑・一般質問の項目一覧は、市議会ホームページに掲載しています。



まちづくり

鼠谷川流域における
短時間豪雨災害への対策を
新和会 八田 憲児

問 山中町の鼠谷川流域では、2年連続で河川の氾濫による浸水被害が発生しているが、今後の対策は

答 鼠谷川の支流河川の補修と併せ、3カ所の洪水調整池の堆積物の状況調査を行っており、今後の治水対策を検討していく。また、令和5年度には国の制度を活用した洪水調整池のしゅんせつを予定しているが、できる限り早期の実施に努めていく。

地域の歴史風土を考慮した大津湖畔なぎさ公園の再整備を
湖誠会 竹内 基二

問 民間活力を活用したなぎさ公園市民プラザの再整備と店舗出店に当たっては、地域との連携や歴史風土を生かすべきと考えるが、見解は

答 事業者は膳所の歴史風土に配慮した桜や松の植樹や、市民プラザからサンシャインビーチをつなぐエリアの散策路整備などを計画しており、地域への回遊性の向上にとぎわい創出の相乗効果を期待している。

くらし

交通安全の推進と連携した
生活道路拡幅整備事業の充実を
新和会 仲野 弘子

問 交通安全に係る条例の施行や計画の策定を契機として、庁内で連携し、本事業の取り組みをさらに充実すべきと考えるが、見解は

答 関係所属が中心となり、条例に基づく道路の見通し確保のための施策検討会議を行い、交通安全上の指針の策定に取り組んでいる。今後も連携体制を維持しつつ、さらなる事業推進に努めていく。

豪雨時のアンダーパスでの冠水に備えて早急な対策を
公明党議員団 中田 一子

問 激甚化する自然災害に備えた市内のアンダーパスの冠水対策は

答 冠水時の注意看板を入口付近に設置するとともに、降雨時には監視カメラにより現場の状況を把握し、危険性が確認された際は速やかな通行止めなどの対策に努めている。今後、監視カメラの未設置箇所への追加設置に加え、関係機関との緊急時の連絡体制強化に努めていく。

危険な歩きスマホをなくす
ために交通安全条例の周知を
湖誠会 近藤 眞弘

問 当該条例には歩きスマホの禁止が規定されているが、市民が十分認識できているか懸念している。市民への周知が重要であるが、方策は

答 条例の施行に際し、広報や市ホームページで解説や周知を行ってきたが、今後より多くの市民に条例を理解してもらうよう、公共施設へのポスターの掲示やチラシの設置などでも周知・啓発を行っていく。



歩きスマホ防止啓発(デジタルサイネージ)

事業者と地域の協働を促進し
防災・減災活動の強化を
共産党議員団 杉浦 智子

問 市内の企業や事業所が保有する施設の一時避難場所への活用など、地域の防災・減災活動への参画を事業者に積極的に働き掛けるべきでは

答 地域の防災力を高める上で、企業や事業所の防災・減災活動への参画は有効であるため、毎年行っているシェイクアウト訓練の案内に、当該参画を促す一文を加えるなど、働き掛けについて検討していく。

教育

通学路交通安全プログラムに基づく合同点検の実施状況は
新和会 鳥井 義徳

問 通学路交通安全プログラムに基づき、学校、警察、道路管理者などが参加して年に一度実施している通学路の合同点検の対応状況は

答 令和3年度は全小学校区150カ所を点検し、対策困難な箇所ではドライバーへの注意喚起看板の設置や児童生徒への交通安全指導などを行った。令和4年度は126カ所点検し、結果の取りまとめ中である。



通学路合同点検の様子

子どもたちが安心して学べる
学習環境の整備を
湖誠会 川口 正徳

問 不登校や別室登校などの課題を抱えた児童生徒に対する支援や働き掛けの現状は

答 別室登校や放課後登校などの居場所づくりをはじめ、教育支援センターでの体験学習への参加など、個々の状況に合わせたきめ細やかな支援により、社会的自立の基礎を養うとともに、教育機会の確保に努めている。

熱中症予防のため小中学校へ
ボトル給水型冷水機の設置を
公明党議員団 高橋 健二

問 小中学生への情報モラル教育のさらなる拡充を
新和会 細川 俊行

問 小中学生のネットいじめやSNS上でのトラブル事案の増加を踏まえ、全ての小中学校で、また小学校低学年から情報モラル教育に取り組みすべきでは

答 小学1年生から3年生までにもタブレット端末を配備したこともあり、全小中学校で低学年から発達段階に応じた情報モラル教育を進めていけるよう学校に促していく。

するボトル給水型冷水機の小中学校への設置に向けた検討を
答 これまでも飲料水持参の指導など児童生徒の熱中症予防に努めており、現時点での設置は考えていないが、近年の猛暑などに鑑み、児童生徒や保護者からの意見、他都市の事例を把握しながらボトル給水型の冷水機などの設置も検討していく。

世界標準の包括的性教育の
取り組みを
共産党議員団 林 まり

問 外部の研究者や産婦人科医会などにも力を借り、学校現場において包括的性教育に取り組むべきでは

答 産婦人科医などによる出前授業や研修会を実施している学校もあり、よい取り組みは市内に広めたい。性教育の実施に当たっては、学校教育活動全体を通し、命を大切に考えることや、一人一人を尊重する態度を育むための指導が大切と考えている。



教職員研修会の様子

広報PR

情報発信中

大津市議会局
Facebook



小中学校における
ICT環境の計画的な整備を
立志会 青山 三四郎

問 学校ICT機器の計画的な整備に向け、優先すべき視点は

答 GIGAスクール構想における機器の整備が完了し、現在、さらなる活用を進めている。今後、機器の更新時期を迎えると多額の費用が必要となるため、令和4年8月に、国に対して、更新費用に係る負担を要望したところであり、計画的な更新に向け、引き続き国に求めている。

図書館の本を館外で返却できる
ブックポストの設置を
協生会 出町 明美

問 令和2年9月通常会議、令和3年11月通常会議において館外での貸出返却サービスの拡充を求め、ブックポスト設置について質問したところ、早期実現に向け検討しているとの回答だったが、進捗状況は

答 図書館利用者アンケートの結果では駅への設置を求める声が多かったため、JR石山駅への設置を予定しており、早期実現に努めている。

※GIGAスクール構想 児童生徒への一人一台端末と、高速ネットワーク環境などを一体的に整備し、多様な個性に合わせ、教育を実現するための計画

※包括的性教育 人権的なアプローチに基づき、ジェンダー平等、健康、幸福など幅広く学ぶ体系的で科学的な性教育

※アンダーパス 交差する鉄道や道路などの下を通過するため、周辺の地面よりも低くなっている道路

福祉・医療

保育人材確保の取り組みを

新和会 井内 律子

問 保育施設入所選考時の加点对象を、保育施設で働く保育士以外の資格職にも広げるべきでは

答 市内保育施設へ就労する保育士などの子どもの入所調整を最優先としており、他の職種に同様の優先的な取り扱いを広げる考えはないが、保育士確保を優先することによる保育の受け入れ枠の拡充に重点を置き、そのニーズに応えていく。

業務継続計画策定に向けた介護事業者などへの支援を

公明党議員団 佐藤 弘

問 介護・障害福祉サービス事業所などで今後義務化される本計画の策定には、情報収集の観点から本市が策定を進める個別避難計画との連携が効果的であるため、計画のひな型を示すなど策定支援をすべきでは

答 各事業所に応じた計画となるよう、継続的な見直しを念頭に置き、事例を記載したひな型の提供や相談対応などにより策定を支援する。

自治体マイナポイントの活用検討を

新和会 神田 健次

問 子育て世帯への支援金や健康増進活動の参加者への特典など、幅広い施策に利用できる本制度の活用に向けた検討状況は

答 令和4年度に独自ポイント給付事業のためのポイント連携プラットフォームを構築し、まずは、健康づくり事業に参加した方に付与するポイントを自治体マイナポイントに交換できる仕組みを整備していく。

カーボンニュートラルの実現に向けた財源確保を

新和会 幸光 正嗣

問 国から脱炭素先行地域の選定を受け、その関連事業に対する補助金を得るための取り組みに力を傾注すべきと考えるが、進捗状況は

答 大津湖畔なぎさ公園周辺エリアが選定されることを目指し、必要な調査・検討と推進体制づくりを進めており、令和4年12月から令和5年1月ごろに予定されている先行地域の募集への申請を見込んでいく。

地域や観光団体などと一体となった観光振興を

湖誠会 寺田 英幸

問 令和6年のNHK大河ドラマ

ダブルケア問題に対する支援拡充を

市民ネット21 奥村 功

問 子育てと介護を同時に担うダブルケアの当事者や支援者が、育児や介護に前向きに取り組めるよう、気軽に相談や情報交換、悩みの共有ができる居場所づくりが必要では

答 まずはダブルケアをする側、される側の問題把握のため、当事者に関わるケアマネジャーや子育て関連施設職員などへの研修時に問題を取り上げ、実態把握に努めていく。



ダブルケア（イメージ）

子ども医療費助成制度は早急に中学校卒業まで拡充を

共産党議員団 柏木 敬友子

問 子育て世帯の医療費負担に対する切実な声から、子ども医療費助成を中学校卒業まで拡充すべきでは

答 本制度は全国統一で整備されるべきと考えており、国に継続して要望している。県へは市民の要望が多

「光る君へ」の放映決定に伴い、本市の観光振興について、今後は行政、観光団体や地域住民が協働して取り組んでいく必要があると考えるが、見解は

答 行政、事業者、石山寺をはじめとする寺社や観光協会などと連携し、市民に地域を再発見してもらえ取組みを地域一体で進める。

読みたくなる広報紙を目指し前例にとられない改善を

公明党議員団 改田 勝彦

問 ビジュアル重視と徹底した市民目線で、行動につながる広報を目指し、ページ数や紙面サイズなども含めて広報おおつを改善すべきでは

答 これまでも工夫を重ねてきたが、今後は紙面デザインやレイアウト、ページ数などの仕様も検討し、議員が紹介された事例も参考にしながら「伝える」広報から「伝わる」広報となるよう、情報発信していく。



広報おおつ

いことを伝え、支援を求めており、特に令和4年度は制度拡充を最重要事項とした要望書を提出した。今後も引き続き国や県へ要望していく。

誰もが一緒に育ちあえる保育の充実に向けた取り組みを

清正会 谷 祐治

問 本市では市立保育園の入所率が減少する一方、加配保育士の割合は増加傾向にある。誰もが一緒に育ちあえる保育の充実を図る観点から、次年度以降における正規職員保育士の計画的な増員に向けた方針は

答 本市は集団の中で共に育ちあい、一人一人の発達を保障する保育の推進を目指しており、今後も計画的な正規職員の採用に努めていく。

市政一般

保健所の人員体制のさらなる強化を

新和会 笠谷 洋佑

問 今般の新型コロナウイルス対応を契機として、保健所職員の増員や、さらなる外部への業務委託の実施を検討し、人員体制の強化を図るべきでは

答 引き続き、保健師など専門職の確保、システムの導入や業務見直しによる効率化を図りつつ、人員体制の確保や整備につながることも、

労働者協同組合設立の積極的な後押しを

公明党議員団 濱 興修利

問 多様な働き方の実現に寄与し、子育て支援、地域づくりなど幅広い分野で多様なニーズに対応していくための担い手となり得ることから、組合設立を後押ししていくべきでは

答 市ホームページや関係部局との連携による周知を図るほか、創業を検討する方に対しては法人設立時の選択肢として示し、必要に応じて所管行政庁である県と連携する。

ボランティア活動におけるポイント制度の導入検討を

市民ネット21 草川 肇

問 ボランティア活動の活性化のきっかけとなるボランティアポイント制度の調査・研究を進めるべきと考えるが、市の見解は

答 マインバーカード活用策検討の中で本市独自のポイント連携プラットフォームの整備を進めており、今後、ボランティアポイントをはじめとするポイント給付事業の有効性などについて調査研究を進める。

庁舎整備に求める基本コンセプトは

市民ネット21 田中 知久

問 現在策定中の市庁舎整備基本構

さらなる外部委託を視野に入れた体制強化を検討していく。

消防隊員の勤務中の飲食物購入に係る規定の整備を

新和会 河村 浩史

問 猛暑などの影響で救急車の出勤件数が急増し、消防隊員の休憩時間が激減しているため、出先の飲食物購入に係る規定を整備すべきでは

答 店舗に立ち寄りよりも消防署に戻り隊員が交代して休憩する方が効果的と考えるが、大規模災害発生時には休息や飲料水の確保が必要となる場合もあるため、体調管理を踏まえた労務管理も含め検討していく。

歴史的風致維持向上計画と整合した景観計画の策定を

新和会 津田 新三

問 古都大津の風格ある景観づくりを目指す第2次大津市景観計画の策定に当たり、歴史的風致維持向上計画とどのように整合を図るのか

答 市歴史的風致維持向上計画には、堅田地区をはじめ、3つの重点区域が定められている。景観上も重要な地域であるこれらの地域の方々のご意見をお聞きしながら、両計画の整合を図っていく。

想で示された基本コンセプトにおける「市民に親しまれる庁舎のイメージは

答 利用しやすい窓口サービスなどの機能面はもちろん、他の公共施設との複合化も検討し、庁舎周辺のにぎわい創出など、まちづくりに資する拠点として市民が集いやすい庁舎をイメージしている。

国スポ・障スポの開催に向けた現状と今後の取り組みは

市民ネット21 船本 力

問 令和7年に滋賀県で開催される国スポ・障スポに向けて、市民の意識を高める活動などが必要と考えるが、現状と今後の取り組みは

答 令和4年8月に準備委員会から「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ大津市実行委員会」に改めた。市で実施する競技の準備に万全を期し、市民の機運醸成や選手や観客などへのおもてなしなどに取り組んでいく。

青柳団地の住民要望をかなえ私道の市道への移管を

共産党議員団 小島 義雄

問 市道から流れる雨水が青柳地区の私設排水管に流入することからも、今後、市は当該地域の私道の市道への移管に積極的に関与すべきでは

（次ページへ）

※国スポ・障スポ 令和5年に国民体育大会から改称される国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の略称

※労働者協同組合 組合員が出資し、それぞれの意見を反映して組合の事業が行われ、組合員自らが事業に従事することを基本原理とする組織

※脱炭素先行地域 2050年カーボンニュートラルに向けた脱炭素の取り組みを先行して実践する地域

※自治体マイナポイント マイナンバーカードを活用し、地方自治体のさまざまな取り組みを通じてキャッシュレス決済サービスで利用できるポイントがもらえる仕組み

※加配保育士 障害や発達遅れなど支援を必要とする子どものために、通常の職員に加えて配置される職員

※個別避難計画 高齢者や障害者など自ら避難することが難しい人に対し、個別に作成する避難支援のための計画

※業務継続計画 災害など緊急事態発生時に重要業務が中断しないよう、また中断した場合も迅速に再開できるよう復旧対策の手立てを策定した計画

議案の議決結果

8月通常会議に提出された議案と議決結果は次のとおりです。

◆議員提案

会議案	件名	議決結果
第4号	市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部改正	可決（全員）

◆市長提案（※賛成、反対の双方あった議案は色付で表示しています。）

議案	件名	議決結果
第71号	R4 一般会計補正予算（第3号）	可決（多数）
第72号	R4 国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	可決（全員）
第73号	R4 卸売市場事業特別会計補正予算（第1号）	可決（全員）
第74号	R4 介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	可決（全員）
第75号	R4 後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）	可決（多数）
第76号	R4 学校給食事業特別会計補正予算（第1号）	可決（全員）
第77号	R4 水道事業会計補正予算（第1号）	可決（多数）
第78号	R3 一般会計の決算の認定	認定（多数）
第79号	R3 国民健康保険事業特別会計の決算の認定	認定（多数）
第80号	R3 卸売市場事業特別会計の決算の認定	認定（全員）
第81号	R3 財産区特別会計の決算の認定	認定（全員）
第82号	R3 介護保険事業特別会計の決算の認定	認定（多数）
第83号	R3 後期高齢者医療事業特別会計の決算の認定	認定（多数）
第84号	R3 母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計の決算の認定	認定（全員）
第85号	R3 学校給食事業特別会計の決算の認定	認定（全員）
第86号	R3 病院事業債管理特別会計の決算の認定	認定（全員）

議案	件名	議決結果
第87号	R3 水道事業会計の決算の認定	認定（全員）
第88号	R3 下水道事業会計の決算の認定	認定（全員）
第89号	R3 ガス事業会計の決算の認定	認定（全員）
第90号	市議会議員及び市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正	可決（全員）
第91号	市職員の育児休業等に関する条例の一部改正	可決（全員）
第92号	市職員退職手当支給条例の一部改正	可決（全員）
第93号	手数料条例の一部改正	可決（全員）
第94号	建築基準条例の一部改正	可決（全員）
第95号	社会福祉審議会条例の一部改正	可決（全員）
第96号	医療費助成条例の一部改正	可決（全員）
第97号	老人福祉医療費助成条例の一部改正	可決（全員）
第98号	都市公園条例の一部改正	可決（多数）
第99号	水道事業、下水道事業及びガス事業の設置等に関する条例の一部改正	可決（多数）
第100号	人権擁護委員の候補者の推薦	同意（全員）
第101号	R4 一般会計補正予算（第4号）	可決（全員）

賛否の公表

賛成・反対の双方があった議案について表示しています。（○・・・賛成、●・・・反対）

議案名	会派名 議員名	新和会										湖誠会					公明党				市民ネット21				共産党				協	清	立							
		仲野 弘子	八田 憲児	幸光 正嗣	津田 新三	井内 律子	笠谷 洋佑	河村 浩史	神田 健次	鳥井 義徳	西村 和典	伴 孝昭	細川 俊行	近藤 眞弘	川口 正徳	寺田 英幸	草野 聖地	竹内 照夫	竹内 基二	濃奥 修利	佐藤 弘	改田 勝彦	高橋 健二	中田 一子	船本 力	草川 肇	奥村 功	嘉田 修平	田中 知久	杉浦 智子	立道 秀彦	林 まり	柏木敬友子	小島 義雄	出町 明美	谷 祐治	青山 三四郎	
第71号、第75号、第77号 第78号、第79号、第82号 第83号、第98号、第99号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	○	○	○	○	○

※ 議長は表決に加わらないため「／」と表示しています。

※ 会派の名称：公明党（大津市議会公明党議員団）、共産党（日本共産党大津市会議員団）、協（協生会）、清（清正会）、立（立志会）

請願

8月通常会議に提出された請願1件の審査結果は次のとおりです。

◆不採択となったもの

- ▷ 子どもの医療費を中学校卒業まで無料にすることを求める請願

請願・意見書案などの内容や個別賛否はこちらから

意見書

8月通常会議に提出された意見書案7件のうち、2件を可決しました。

- ▷ 女性デジタル人材育成を強力に推進するための支援を求める意見書
- ▷ 地方の農地の保全と活用のための支援拡充を求める意見書



議会広報番組のお知らせ

びわ湖放送 光ル☆おおつ

大津市議会 各常任委員長にきく

各常任委員会の委員長が出演し、委員会の役割や活動をご紹介します。

12月4日(日) 総務 常任委員会

12月11日(日) 生活産業 常任委員会

12月18日(日) 教育厚生 常任委員会

12月25日(日) 施設 常任委員会

放映時間 18:15～18:30

問 国が普及を推し進めているマイナンバーカードの取得はあくまで任意であるため、取得の有無によって受けることができる行政サービスに差や不利益が生じることはあってはならないと考えるが、見解は

答 マイナンバーカードの取得の有無により、本市が提供する行政サービスそのものに差が生じることはないものと認識している。

「マイナンバーカードの有無に
よらず平等な行政サービスを
共産党議員団 立道 秀彦

答 市道への移管には、市道認定要件を満たすため、用地の寄附や改修などの条件整理が必要となる。市は仲介や交渉への関与はできないが、地域住民の相談や協議には適切に対応していく。

市政

ビフォー・アフター

～議員の質問とその後を追跡しました～



令和4年4月から、市内の全ての公立保育園で、園での使用済み紙おむつの廃棄が行われるようになりました。

実現!!

議員の質問
市内の公立保育園では原則として子どもの使用済み紙おむつを持ち帰ることになっており、保護者の負担となっている。衛生的な観点などからも、使用済み紙おむつは原則園で廃棄しては

市の答弁

公立保育園での
使用済みおむつの廃棄



実現!!

障害者手帳アプリの画面提示で、市民プールや駐車場などの市内公共施設で使用料の割引が受けられるようになりました。

市の答弁

議員の質問
障がい者の支援と社会参加を促すため、紙の手帳よりも利便性が高い障害者手帳アプリの画面を提示することにより、公共施設で使用料の減免などを行うべきでは

障害者手帳アプリによる
公共施設使用料の減免

MISSION ROAD MAP 2019

NEWS
Vol.9

大津市議会では「ミッションロードマップ2019」として、4年間の議員任期の中で議会をあげて取り組む政策立案、議会改革に関する9テーマを公表し、計画的に推進しています。

このうちの2テーマについて、政策検討会議での議論を終了しました。

若者の議会への関心と投票率向上の仕組みづくり

若者の投票率が低迷し、若い世代の政治への関心が低い状況を踏まえ、平成27～30年度に引き続き当該テーマの政策検討会議を設置し、高校生との意見交換なども実施しながら、これを克服するための方策を検討してきました。今後、「若者との意見交換会の継続的な実施」や「主権者教育に資する動画の継続的な制作及び発信」に議会全体で取り組んでいきます。

詳しくはこちらは



歯と口腔の健康づくり

歯と口腔の健康を生涯にわたり守ることにより、市民の生活の質の向上や健康寿命の延伸を目指すことを目的として、令和3年度から政策検討会議を設置し、その方策を検討してきました。大津市歯科医師会や滋賀県の歯科保健担当部局との意見交換などで知見を深め、議論を重ねながら、市への提言書をまとめました。

高校生と議員との意見交換会を開催

大津市議会では、広聴活動の充実の観点から、高校生との意見交換会を定例的に開催することになりました。初回となる令和4年度は、大津商業高等学校、膳所高等学校の皆さんと意見交換会を実施しました。高校生にとっては議員や議会と接する機会として、議員にとっては若い世代の考えや想いを知る機会として、それぞれに有意義な時間を過ごすことができました。



大津商業高等学校の生徒の皆さん
※撮影時のみマスクを外しています

大津商業高等学校



テーマ 高校生が市議会を身近に感じるための情報発信とは

2次元コードで動画が見られたり学校での配布があれば、議会だよりを読む機会は増える！

意見交換で
出た
アイデア



意見交換で
出た
アイデア

議会が遠い存在であることが問題
若者向けの雑誌やSNSで
情報発信すると身近に感じる！



意見交換で
出た
アイデア

学校訪問や意見交換など
議会と高校生が
もっと関われる機会をつくる！



高校生の
感想

遠い存在だと思っていましたが、実際に話すと親しみが持てました。僕たちも市議会の情報発信に関わることがあれば、協力したいと思いました。



膳所高等学校



テーマ 若者の抱える課題・困りごとを解決するため市政・市議会は何かできるのか

高校生の起業支援や遊ぶ場所の拡充など、若者向けの施策を充実してほしい！

意見交換の
内容・気づき



意見交換の
内容・気づき

市バスの減便や保育士不足などの地域課題の背景を知り、議員と認識を共有できた！



意見交換の
内容・気づき

生活のすべてが政治と関わっていると分かった。若者が選挙へ行くことは意味がある！



高校生の
感想

若者と議員がそれぞれに関心のあることを話し合えるのは貴重な体験でした。こういった機会がもっと広がると素晴らしいと感じました。



総務常任委員会

びわ湖浜大津駅周辺市有施設の利活用の調査

県立琵琶湖文化館の後継施設の開館を契機に、びわ湖浜大津駅周辺エリアの魅力向上とにぎわい創出を図るため、市は、市民アンケートなどの調査を実施しました。

委員会では調査結果の報告を受け、今後の周辺市有施設の利活用について、議論を深めました。

教育厚生常任委員会

いじめの防止に関する行動計画

計画素案が策定されたことから、6月に続いて総務常任委員会との連合審査会で調査しました。

審査会では、前回出された意見が素案に反映されていることを確認した上で、各取り組みの目標値や、家庭・地域・関係機関との連携の在り方などについて議論しました。

生活産業常任委員会

葛川森林キャンプ村の在り方検討

施設の老朽化などに伴い、令和3年度末をもって休止中の葛川森林キャンプ村について、多様化する昨今のキャンプ需要に柔軟に対応するため、市は民間活力導入を前提に在り方検討を進めており、委員会では事業者の公募に向けた取り組み状況などを調査しました。

施設常任委員会

マンション管理適正化推進計画策定の進捗状況

全国的にマンションの老朽化や管理組合の担い手不足が問題になる中、本市では令和4年度中に本計画の策定を予定しています。

委員会では、計画案の策定に当たって、有識者意見聴取会の設置の状況や、重視すべき視点などについて調査しました。

議員提案条例の検証

過去に議員提案で制定した条例が現在の社会情勢に即しているかなどを確認し、その実効性を高めていくために常任委員会で検証し、検証結果報告書をまとめて、議長から市長へ手交しました。

検証した条例

- ▶子どものいじめの防止に関する条例
- ▶災害等対策基本条例
- ▶がん対策推進条例

検証結果
はこちら



委員会活動レポート

常任委員会と特別委員会では、それぞれの委員会が担当する分野について、市の行っている事業や計画などの調査を行っています。

ここでは、8月通常会議で実施した委員会での調査活動内容について紹介します。



公共施設対策特別委員会

市庁舎整備基本構想の策定

令和4年7月末にかけて実施された市民アンケート調査結果などを踏まえて作成された基本構想の素案を調査しました。委員からは、市庁舎整備に向けた取り組みが前進したことを評価する意見があった一方、今後のスケジュールなど庁舎整備における課題を指摘する意見が出ました。

ICT活用対策特別委員会

※DXに関する国の動向と自治体DXの取り組み

自治体DXの専門家を招き、DXに関する国の動向、自治体DX推進計画の現在の取り組みや課題、今後の展開について、他市町村の事例などを踏まえながら講演が行われ、専門家と委員間で活発な意見交換が行われました。

ゼロカーボンシティ推進対策特別委員会

クリーンエネルギーの活用の方向性

市内における太陽光発電などのクリーンエネルギーの活用の方向性や導入状況について調査しました。委員会では、周辺環境への配慮や経済効率性の重要性を認識しながら、ゼロカーボンシティの実現を見据えた導入の推進について意見を交わしました。

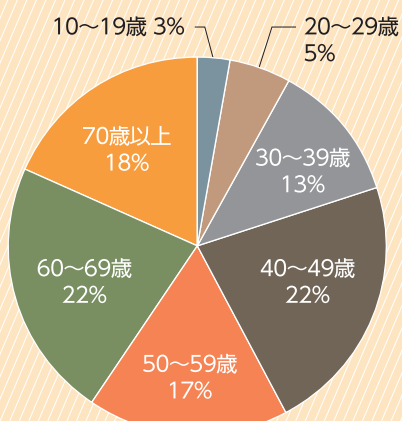
おつ市議会だより

読者アンケート結果のお知らせ

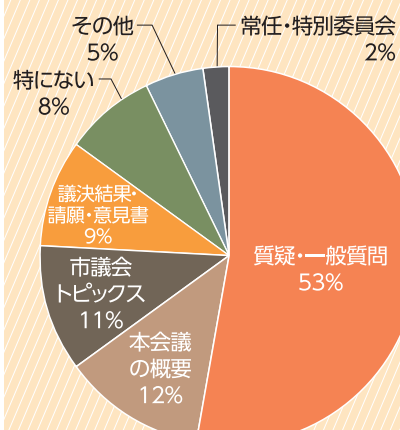
前号で実施した読者アンケートには、125件の回答をいただきました。ご協力をいただいた皆さん、大変ありがとうございました。若い世代の回答が比較的少ないことなども踏まえ、内容のわかりやすさや情報量などの改善を検討していきます。



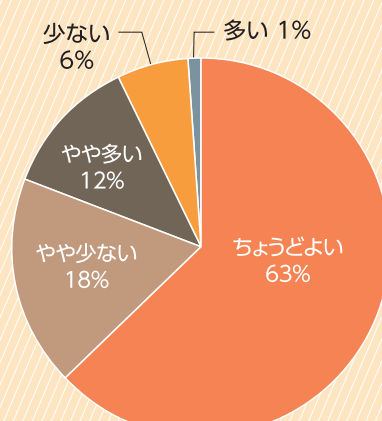
属性(年代)



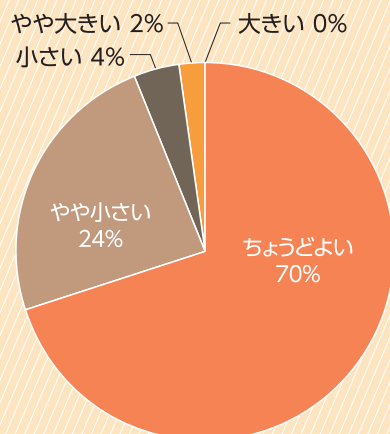
よく読むページ



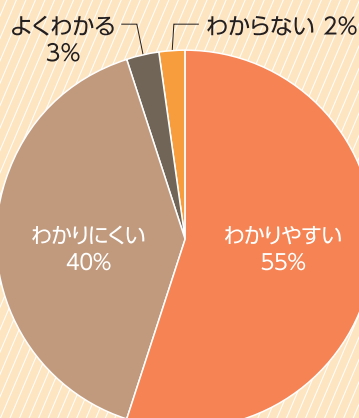
情報量について



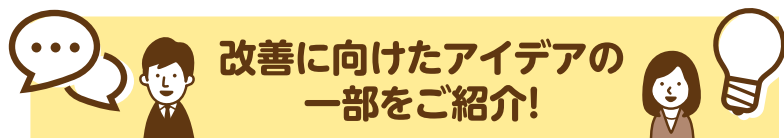
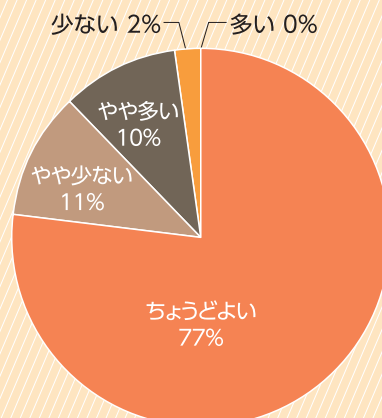
文字の大きさ



内容について



ページ数について



改善に向けたアイデアの一部をご紹介します!

- ☑ 文字を減らして、図表やイラストを増やす
- ☑ レイアウトを刷新する
- ☑ 市民が登場する表紙で手に取りやすくする
- ☑ カラーユニバーサルデザインに配慮する
- ☑ 文章を簡単にし、子どもも一緒に読める内容に
- ☑ クイズや漫画を取り入れる
- ☑ 議員の顔が見えるコーナーをつくる
- ☑ 市民が登場するコーナーをつくる

このほかにも、たくさんのご意見をいただきました。

今号から、表紙やレイアウトの一部をリニューアルしました。いただいたご意見も参考に、おつ市議会だよりはこれからもリニューアルを重ねていく予定です。

次回は**11**月通常会議



審議期間(予定)

11/22(火)～12/22(木)

日程の詳細はホームページへ

